

# 報告書ができるまで（東山梨 美術図工科部会のとりのくみ）

## I 研究の経過と概要

### 1 本年度の研究テーマと研究の柱

□ 2016年度研究テーマ □

1人ひとりの力を引き出す題材と授業をどうつくっていくか

#### 【研究の柱】

- ①子どもの課題や実態にあった題材と授業づくり
  - ・1人ひとりの力を引き出すための授業の組み立て方の工夫。子どもの課題や実態を捉え、どのような力をつけさせたいかを考えた題材設定の研究を深める。
- ②子どもの表現活動によりそう支援の在り方
  - ・子どもが「みて、きいて、かんじて」鑑賞や造形活動に向かう時、どこで悩み、どのような工夫が生まれたのかを読み取る工夫を模索していく。
  - ・子どもの表現活動に寄り添って、おもいが出る、おもいが出せる支援を考えていく。
- ③つながりと広がり、先を見通した実践の積み重ね
  - ・教職員と子ども、子どもと子ども、小学校・中学校のつながり、保護者とのつながり、教科と教科、題材と題材等の関連・連携を図って美術教育を進め、広げていく工夫を考えていく。
  - ・地域との結びつきのある素材の発掘を視野に入れた美術教育の広がりを模索したり、小学校で行っている造形遊びを中学校の発達段階に即して発展的に取り入れ、小学校で身につけた力を中学校でさらに発展させていくような題材設定やカリキュラムなどを工夫して考える。

### 2 研究の内容・研究方法について

#### ◇研究内容

- ・授業研究を実施し、授業の在り方を考える。
- ・実技研修を実施し、授業に還元する。
- ・研究会場を持ち回り、各校の展示環境や鑑賞学習を参考にする。

#### ◇研究方法

- ・授業案の提案・検討・実践・検証（年二回の授業研究）
- ・1人1実践による作品研究
- ・実技研修（ガラス工芸作品の制作）
- ・学習会（山梨大学新野貴則准教授による模擬授業など）

### 3 研究の経過と今後の予定

日時	会場	内容
5/8	山梨南中	役員・諸係・研究テーマなど決定
5/18	神金小	研究方法等確認 作品研究（神金小 広瀬）
6/1	山梨南中	学習会（山梨大学 新野貴則先生 「新しい鑑賞活動の方法」 模擬授業）統一授業研指導案検討（勝沼中 渡邊）
8/1	勝沼中 臨地研修	統一授業研指導案検討（勝沼中 渡邊） がらす屋にて作品制作・ワイングラス館でワインラベルの鑑賞
8/31	勝沼中	統一授業研（勝沼中 渡邊 「世界に発信勝沼ワイン」）
9/28	山梨南中	秋季教研 県教研レポート検討（勝沼小 古屋） 作品研究（山梨北中 菊島「アートルーフレット」 大和小 井上「トントンドンドンくぎ打ち名人」）
11/30	井尻小	県教研還流報告 統一授業研指導案検討（神金小 広瀬） 作品研究（勝沼小 古屋）
1/11	塩山中	統一授業研指導案検討（神金小 広瀬） 作品研究（岩手小 三枝 塩山中 小澤）
2/8	神金小	統一授業研（神金小 広瀬）
2/15	山梨南中	冬季教研 一年間の反省

## II 研究組織

東山梨教研は、校長・教頭・教諭三者の教育協議会形式で研究を進めており、本年度の図工・美術部員は、11名となっている。全体で同一のテーマを設定し、研究会をもっている。研究会の運営は、会場を持ち回り、小・中合同で話し合いを行い、研究を進めている。

- |       |              |           |   |
|-------|--------------|-----------|---|
| ○部長   | 小林 紀子（山梨南中）  | ○副部長      | 菊島 美香（山梨北中）                                     |
| ○助言   | 岩森真由美教頭（大藤小） |           |   |
| ○山梨支会 | 三枝清美（岩手小）    |           |   |
| ○甲州支会 | 廣瀬きよ美（神金小）   | 古屋ゆか（勝沼小） | 小澤朋子（塩山中）<br>渡邊貴子（勝沼中） 青柳仁美（井尻小） 広瀬早理 井上甲斐（大和小） |

## III これまでの成果と課題

- ・授業指導案を全員で検討し、実践し、授業や題材について研究することが出来たことは部員の指導力の向上につながったと感じる。
- ・新野先生の講義を聴いて、鑑賞活動についての知識理解が深まった。実際に教師役と生徒役になって鑑賞の模擬授業を行う中で、どんな発問が効果的かが分かった。今後の指導に生かせるようにしたい。
- ・各校を会場にすることで、展示環境や材料、作品などを参考にすることができた。
- ・11人という少人数の部会であるが、充実した研究を行うことができた。

# 一人ひとりの力を引き出す題材と授業をどうつくっていくか

甲州市立勝沼小学校 古屋 ゆか

## 1 はじめに

子どもたちは、絵を描いたり、何かをつくったりすることが好きだと思う。ふとした時間に描くイラスト、余った紙でつくる友だちへのプレゼント、見立て遊びなど、とても楽しそう。図工の授業でも、実際に作品づくりに向かっている時の子どもたちの様子は、夢中になって手を動かしたり、「次は、どうしようかな」とじっと作品を見つめていたり、友だちと作品を見せ合ったりと、楽しく活動していることが分かる。しかし子どもと話していると、「自分で勝手に描くのはいいけど、図工は嫌い」「図工は嫌いではないが、苦手」だという子がいる。低学年の頃には、純粋に自分の思うままに表現することを楽しんでいて、いつの間にか素直に楽しいと言えなくなってしまうようだ。その理由は、「自分の思った通りにできなかつたから」「何をしたらいいのかわからないから」「時間が足りなくて、途中で諦めてしまうことがあるから」「本物っぽく描けないから」「友だちと比べて、下手だから」など様々だ。子どもたちにとって興味をもてる題材と出会わせたり、納得いくまで取り組ませたり、必要な支援をしたり、友だちや教師が認めてその子のよさに気付かせたりすることで、自分らしさを追求することのできる、図工の楽しさを感じられるようになってほしいと思う。

“子どもたちの体験の少なさ”も感じている。例えば低学年で砂や水を使って造形遊びをしたとき、以前ではあつという間に砂場に大きな山や谷ができ、友だちと協力しながら川や道や建物をどんどんつなげ、子どもたちは泥だらけになりながら全身で活動を楽しんでいた。しかし最近では入学前に砂遊びを思い切りしたことがない子もいて、まず砂や水に触れて慣れさせることに時間を費やしてからでないと、活動が深まらずに終わってしまう。また家庭で色々な道具に触れる機会も減っていて、学校でしか使ったことがない物も多い。細かい作業ができない子も増え、手先の器用さも以前より劣っていると思うことがある。子どもたちの経験の少なさを、図工の学習で作品づくりに向き合いながら補い、活動の幅を広げさせることで、いつまでも図工が好きで、自分なりの作品づくりに楽しく取り組める子を育てていきたいと感じている。

## 2 題材と授業について

この実践を行うにあたり、以下の点について特に意識して題材と授業づくりに取り組んだ。  
～題材について～

- ・子どもたち一人ひとりが「やってみたい」という興味をもち、その興味を持続させることのできる題材や題材名であること
- ・自分らしさを発揮できるような題材であること
- ・試行錯誤し、工夫しながら表現できる題材であること

～授業について～

- ・図工の授業が楽しみになるような、子どもと題材の出会いになること
- ・身近な材料を生かしながら、材料経験を広げられるような活動をする

- ・他学年の児童も含めた友だちとの関わりをもてるような鑑賞を行うこと
- ・ワークシートを利用して、学びの振り返りができるようにすること

### 3 授業実践

#### 第5学年 図画工作科学習指導案

指導者 勝沼小学校 古屋 ゆか

##### 1 題材名 「劇的空間 ビフォーアフター」 A表現(1) B鑑賞(1)

##### 2 題材について

本学級の子どもたちは、図工の時間を楽しみにしている。新しい材料や用具に出会ったときにも、素直に興味を示す。しかしそれを作品の中に生かすかという、自分には無理だろうとすぐに諦めてしまったり、面倒だからとやめてしまったりする子も多い。また自分の中には“こうしたい”という思いがあっても、周りに合わせようと遠慮してしまうこともある。自分の思いを、伸び伸びと表現し、つくり出す楽しさや喜びを味わわせたい。

本題材は、校舎の中の様々な場所の形や色などの特徴を捉え、そのイメージから発想して、いろいろな材料を使って場所をつくり変えるという内容の造形遊びである。子どもたちにとって身近な校舎だが、普段何気なく見ている場所を形や色、光や空間の広がりなどに着目しながら改めて見つめることで、さらに魅力的な場所になるだろう。自分の思いに合わせて、工夫しながら空間をつくる経験は、子どもにとっては多少の抵抗感があることではあるが、存分に手や体を動かして行う活動によって、これからの造形活動への小さな自信につながっていくことを期待している。

指導にあたっては、場所の特徴を基に、そこから想像をふくらませてつくるという流れを子どもたちにしっかりと意識させたい。そのためにまず全員で同じ場所を見て、どんなことに気がついたかを出し合わせ、沢山の見方があることをつかませる。そして同じ場所であったも、どの特徴に着目するかによって発想の方向が変わってくることや、どんな空間に変身させようか考える楽しさを感じさせたい。場所の特徴をあまり意識せず、つくりたいものをつくっている子どもに対する手立てとして、“その場所が〇〇だから”ということを必ずワークシートに書かせ、形や色などを意識させたい。また中には、何となく場所の特徴を感じとってはいても、明確に説明できないことも予想される。どうしてその場所をつくり変えようと思ったのか、一人一人に聞き言葉で説明させることで、子ども自身が見つけた特徴があるからこそ、つくりたいものが生まれたということを実感させるようにしたい。また子どもにとっては新しい材料を扱う場合や、高所での作業、危険な作業などをする場合もあるので、安全に気をつけて活動することを徹底させるようにしながら、自分なりの工夫を楽しめるようにしたい。できあがった空間は、本学級の子どもたちだけでなく、全校の目に触れる場所になることもある。学級内で鑑賞し合うことはもちろんだが、他学年の子どもたちにも見てもらえるようにし、子どもたちのつながりが、この造形遊びを通して少しでも広がると嬉しいと思う。

### 3 児童の実態

男子8名，女子19名，計27名の学級。明るく元気な子どもたちが多い。男子は普段，よくノートや教科書に鉛筆でいたずらがきをしている。恐竜や昆虫であったり，迷路であったり，時には印刷や汚れからイメージしたものを付け足してかいたり，楽しそうである。しかしいざ図工で作品づくりとなると，自分の考えていることを人前に出すことに自信がなく，実際に手を動かし始めるまでに，時間がかかる傾向がある。また活動の終わりまでの見通しが持てず，時間が足りなくなってしまうたり，途中で行き詰まってしまったりすることもあった。

### 4 題材の目標

○身近な場所の形や色といった特徴から発想を広げ，いろいろな材料を活用して面白い空間につくりかえる。

### 5 題材の評価規準

観 点	〔A表現（1） 及び B鑑賞（1）〕			
	造形への関心・意欲 ・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
盛 り 込 む べ き 事 項	〔造形遊び〕 材料や場所などの形や色，特徴などに関心を持ち，自分の思いをもって造形的な活動に取り組もうとしている。 〔鑑賞〕 自分たちの作品，親しみのある美術作品などのよさや美しさを自分の思いをもって味わおうとしている。	材料や場所などの形や色，特徴などを基に造形的な活動を思い付いたり，周囲の様子を考え合わせたりしている。	手などを働かせたり，今までの経験を生かしたりしながら材料や用具を使い，様々な方法を工夫している。	感じたり話したり，話し合ったりしながら，形や色，表し方の変化，表現の意図や特徴などをとらえ，よさや美しさを感じ取っている。
題 材 の 評 価 規 準	〔造形遊び〕 学校の中の様々な場所の形や色から想像をふくらませ，その場所を面白い空間につくりかえることに取り組もうとしている。 〔鑑賞〕 自分や友だちのつく	場所の形や色などの特徴を生かして，つくりかえると面白いと思う空間の形や色を考えている。	つくりだそうとして いる空間の様子に合った材料の組合せ方や使い方を工夫している。	友だちの場所の特徴を生かしてつくりかえた空間のよさや面白さを感じ取っている。

	りかえた空間のよさや面白さを味わおうとしている。			
学 題習 材活 の動 評に 価即 規し 準た	造・関①学校の中 様々な場所にあるもの の形や色から想像を ふくらませ、面白い 空間につくりかえる ことを楽しもうと している。 鑑・関②自分や友だ ちのつくりかえた空 間に関心を持ち、そ のよさや面白さを味 わおうとしている。	発①友だちと話し合 ったり、じっくりと 場所と向き合ったり しながら、場所の形 や色を生かしてつく りたいものを考えて いる。	創①実際に試しなが ら、つくりたい空間 の様子に合った材料 や組合せ方、つくり 方を工夫している。	鑑①お互いの場所の 生かし方やそのよ さ、面白さについて 話し合い、感じたこ とを伝えている。

## 6 指導と評価の計画（全6時間）

時間	学習活動	評価規準・評価方法				○指導上の留意点
		関	発	創	鑑	
事前						<b>【事前】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予め児童が興味をもちそうな特徴的な場所についての情報を集めておく。</li> <li>・ 特別教室などの他学年の使用予定を確認し、児童が活動することを知らせておく。</li> </ul>
であ い 45 分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           どんな場所を変えると面白い か、想像をふくらませる。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書P18・19ページの児童作品を見て、その場所のどんな特徴に着目してつくりかえたのか考える。</li> <li>○ どの場所をどのように変えると楽しいことができそうか考えながら、いろいろな場所を見て回る。</li> <li>○ 友だちと話をしながらつくりか</li> </ul>	関 ①	発 ①			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が場所の特徴を意識してつくりかえるように、場所の形や色、様子から発想することを確認する。</li> <li>○ 児童と校舎内を見て回る。</li> <li>・ 場所やそこにあるものの形や色、雰囲気などに注目するようにさせる。</li> <li>・ 他学年に迷惑を掛けない範囲で、発想が広がるように友だちと話しながら見てよいことを知らせる。</li> <li>○ つくりかえたい場所を発表さ</li> </ul>

	<p>えてみたい場所を決める。</p> <p>○活動の計画をたて、ワークシートに記入する。</p> <p>○決めた場所をデジタルカメラで撮影する。</p>			<p>せ、同じ場所に集中しないようにさせる。友だちと同じ場所を選んだ場合、一緒につくってよいことを知らせる。</p> <p>○活動を見通すことができるように、時間、材料や用具などについて計画をたてさせる。</p> <p>○活動場所の変化がよくわかるように、はじめの様子をデジタルカメラに記録させる。</p>
<p>ひろがり 180分 (本時3/4)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>場所の形や色などの特徴を生かして、材料の組合せや使い方を工夫しながら、もっと楽しい空間につくりかえる。</p> </div> <p>○場所にある形や色などを生かし、材料の使い方や組合せ方を工夫して、楽しい空間につくりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな材料や方法を試しながらつくる。</li> </ul> <p>○授業の終わりと完成時には、デジタルカメラで撮影して記録を残す。</p>	<p>関 ①</p>	<p>創 ①</p>	<p>○児童の活動に応じて、必要な支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の使い方をいろいろ試しながらつくることを認める。</li> <li>・材料の接着の方法や加工の仕方などについて、相談に応じる。</li> <li>・見つけた場所から発想してつくるということを確認する。</li> </ul> <p>○じっくりとつくり込みたい児童は、図工室でつくってもよいことを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できあがった児童から、つくったものを活動場所にもっていかせる。</li> </ul> <p>○思った空間ができているかどうか、友だちと確認し合いながら活動させる。</p>
<p>ふりかり 45分</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>場所の形や色と、材料との組合せ方を工夫してできたものの面白さに気づき、感想を伝え合う。</p> </div> <p>○場所の形や色、特徴の生かし方、構成の面白さなどについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルカメラで記録した、活動場所の事前・事後の写真を全員で鑑賞する。</li> </ul>	<p>関 ②</p>	<p>鑑 ①</p>	<p>○実際にどのように見えるのか、順路を決めて活動場所を見に行かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな形や色を生かしてつくったのか、つくった人たちの意図は伝わったか、空間の面白さはどこかなどを考えさせる。</li> </ul> <p>○他学年にも見てもらえるように、邪魔にならない場所はしばらく鑑賞できる時間をとってから片付けさせる。</p>

<p>○つくりかえた空間を見て回る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの工夫や面白さ，よさなどを付箋に書いて伝え合う。</li> </ul> <p>○後片付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動場所は元のように戻し，材料は分別したり，次に使えるように整理したりする。</li> </ul>				
---	--	--	--	--

## 7 材料・用具

〈児童〉水彩用具，はさみ，のり，セロハンテープ，ホチキス，段ボール，新聞紙，身辺材（包装紙，布，リボン，毛糸，空き容器など） など

〈教師〉画用紙，色画用紙，新聞紙，段ボール，段ボールカッター，カッター，カッターマット，スズランテープ，紙テープ，紙ひも，リボン，輪ゴム，ビニールテープ，ガムテープ，セロハンテープ，両面テープ，木工用接着剤，科学接着剤，ペン，デジタルカメラ など

## 8 本時の学習

(1) 日時 2015年8月28日(金) 5校時(2:00~3:00)

(2) 場所 勝沼小学校 図工室(南館1階)・校舎内

(3) ねらい ○場所の形や色などの特徴を生かして，材料の組合せや使い方を工夫しながら，楽しい空間につくりかえる。

(4) 本時の展開

時間	学習活動と内容	教師の支援	評価
10分	<p>1 本時の活動について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>場所の形や色などの特徴を生かして，材料の組合せや使い方を工夫しながら，楽しい空間につくりかえよう</p> </div> <p>・ワークシートの計画を見て，本時の活動を見通しをたてる。</p>	<p>・4つの力を提示し，今日は特に「思いに合わせて工夫しよう」の力を使うことを伝える。</p> <p>・本時の流れや活動の約束を確認する。</p> <p>・特に安全に作業ができるように注意する。</p>	<p>関① 〔発言・行動観察〕</p>
35分	<p>2 場所にあるものの形や色などを生かし，材料の使い方や組合せ方を工夫して，楽しい空間につくりかえる。</p>	<p>○より楽しく活動できるように気持ちを高めさせる。</p> <p>○児童の活動に応じて，必要な支援を行う。</p>	<p>創① 〔発言・行動観察〕</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな材料や方法を試しながらつくる。</li> </ul>  <p>3 デジタルカメラで撮影して記録を残す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・始めに撮影したときと同じ場所から写し,変化がわかるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の使い方をいろいろ試しながらつくることを認める。</li> <li>・材料の接着の方法や加工の仕方などについて,相談に応じる。</li> <li>・見つけた場所から発想してつくるということを確かめる。</li> </ul> <p>○じっくりと作り込みたい児童は,図工室でつくらせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できあがった児童から,つくったものを活動場所にもっていかせる。</li> <li>・安全に活動ができるように,危険を伴う作業(高所での作業,カッター等の使用)は,教師がいるときのみ行わせる。</li> </ul> <p>○思った空間ができているかどうか,友だちとも確認し合いながら活動させる。</p>	
15分	<p>4 片付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の使った物だけでなく,教室の床,用具などを協力して片付ける。</li> </ul> <p>5 本時のふりかえりをし,次時の予定や持ち物を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに本時の感想と必要があれば計画の見直しを記入し,次時の確認をする。</li> </ul>	<p>○協力して片付けを進めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの手助けをしている子をほめ,全体に広がるようにする。</li> <li>・材料が無駄にならないように,使えそうなものは,なるべくきれいに集めさせる。</li> <li>・活動場所はみんなが使う共通の場所なので,迷惑になる場合には元通りにさせる。</li> </ul> <p>○工夫したことや知らせたいことなどを2~3名に発表させ,次時の活動に対する見通しが持てるようにさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の様子をほめ,次時の活動が楽しみになるようにする。</li> </ul>	

(5) 板書計画

思いをもって 楽しもう！	思いに合わせて 考えよう！	思いに合わせて 工夫しよう！	見つけよう！
-----------------	------------------	-------------------	--------

劇的空間 ビフォーアフター

場所の形や色などの特徴を生かして、材料の組合せや使い方を工夫しながら、楽しい空間につくりかえよう

やくそく

- ・安全に気をつけよう  
刃物・高い所
- ・他の学年の迷惑にならない
- ・自分の計画にそって
- ・記録を残そう  
ワークシート・デジカメ

接着剤適合表

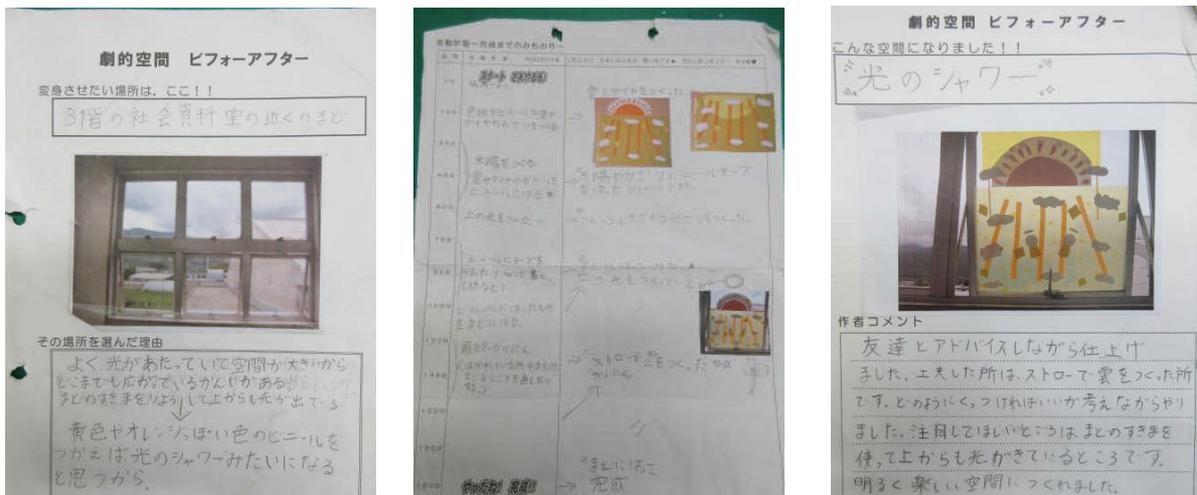
校舎案内図  
(活動場所)

1 4 : 4 5 片付け

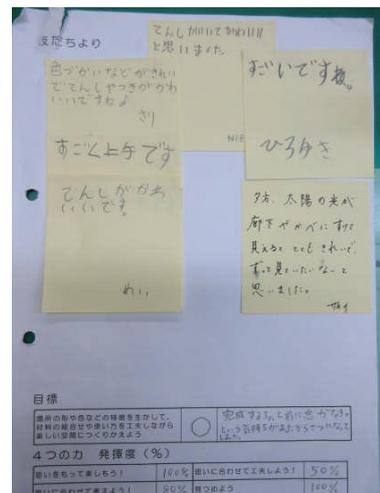
1 4 : 5 0 席に着く

9 ワークシート



10 授業後の研究会より

- ・ やってみたいという意欲がある子は、学校にない材料を用意したり、家庭で小物をつくってきたりしていた。
- ・ 単に場所の様子が何かに似ているという見立てではなく、場所の特徴を生かすためには、その場所へのおもいが必要である。場所と子どもをどう関わらせるかを工夫したい。
- ・ 小学校での楽しい造形遊びから、“美しさ”に気づく中学校の造形活動への架け橋となるのが、高学年である。
- ・ 活動の記録をどう残すのか、評価にどう生かすのか。ワークシートなども活用したい。iPadなどの機器があると、静止画でなく動画でも残すことができる。
- ・ 個とグループのどちらがよいのか。複数の子がいることで、考えが広がったり、より大がかりな活動ができるよさはあるが、個人の方が自分の思いのままに活動することもできる。

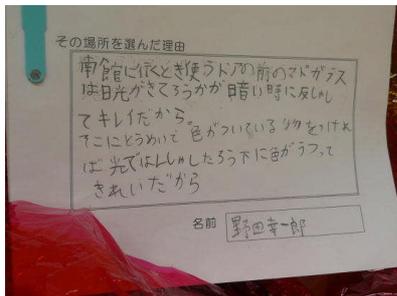


- ・次時には、場所と材料との組合せがよいのか、子どもが検討することも大事である。例えば、その質感の材料でいいのか触って確かめてみるなど。

#### 4 活動の様子から



窓の外に広がるぶどう畑が、教室の中から続いているようにしました。



窓から入る透明な日の光に、色を着けてみようと思いました。



体育館の2階から下を見ると、楽しい家のような感じでした。洗濯物もたくさん干してあります。

#### 5 成果と課題

～題材について～

- ・教室の中や自分の机の上での活動ではなく、校舎の中を自由に使っていいことが嬉しかったようだ。改めて自分たちの校舎を見つめ直したり、普段から感じている、その場所のもつ雰囲気を更に深めたりつくりかえたりすることは、子どもにとって魅力的な題材だった。
- ・題材名「劇的空間 ビフォーアフター」はテレビ番組の内容から、学習内容がイメージし

やすかったようだ。子どもたちは単なる場所の見立てからの発想ではなく、その空間を生かしてつくりかえることが理解できると共に、面白そうだと興味をもっていた。

### ～授業について～

#### 【題材との出会い】

- ・同じ場所でも色々な姿をもっていることや、見る人によっても様々な感じ方があることなど、みんなで校舎を回った際にもう少し時間をかけて意見を出し合い、確認する方がよかった。個々の発想を広げたり深めたりするために、全体での活動を生かせるようにしたい。

#### 【材料の経験】

- ・特に材料の接着に苦勞していた。接着材の選択、丈夫につなぐこと、高さを出すことなど、教師が提示しても実際に経験しないと分からないことや、子どもが納得しないことが多く、失敗を重ねながら学んでいった。
- ・新たな材料経験ができ、つくる楽しさを感じる事ができたので、更に多様な材料についても子どもの興味が広がるように、これからも子どもたちに提示していきたい。

#### 【友だちとの関わりから感じた楽しさ】

- ・自ら友だちに「どう？」と作品を見せに行く子がいたり、手が足りないときには近くの子に手助けを頼んだり、作品をきっかけに進んでコミュニケーションを図ろうとする姿も見ることができた。友だちと関わり、作品をほめてもらうことで自信がもて、安心して自分の思いを追求することができた。
- ・他学年の目に触れる場所を選んだ子も多かった。コメント用の付箋を用意しておいたところ、低学年の子もたくさんコメントを書いてくれた。普段あまり話したことのない子からも自分の活動を見てもらえたことや、自分がつくりたかった面白さを受け止めてもらえたことで、「やってよかった」「楽しかった」という満足感が得られたようである。また下級生にとっても、自分たちもやってみたという意欲を高めるきっかけになっていた。

#### 【ワークシートへの記入】

- ・ワークシートに活動中や前後の写真を貼り、活動計画、簡単な評価などを記入するようにした。開始からの時間で計画を記入し、その隣に実際にしたこと、困ったことなどを書くことにより、進行状況や見通しが確認できていた。また自分で撮った写真を貼ることにより、振り返りがしやすかったようだ。

## 6 おわりに

つい先日、子どもたち数人と渡り廊下を歩いていると、その中の1人が「ここに洗濯物が干してあったよね。」と友だちに話しかけた。「そうそう。ここは家だから。」と、みんなが窓から下を眺める。ほぼ1年が経過した今でも、友だち同士が同じ思いを共有していることに驚いた。その子たち以外にも、時々この活動でしたことを話題にしていることがある。きっと子どもたちの心の中には、あの時の楽しい空間が今でも残り、更に想像を広げて、楽しい空間をつくり上げているのだと思う。一つの題材がきっかけで子どもの見方が広がっていくことに対して、図工という教科のもつ楽しさと、子どもが興味をもってとりくむことができる題材や授業をつくることへの責任を改めて感じた。